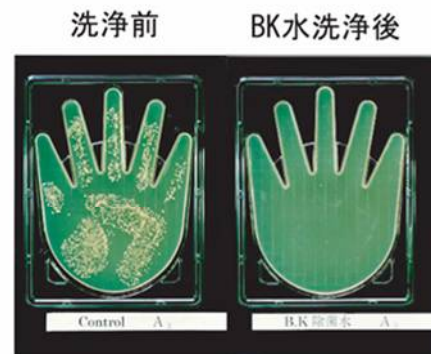
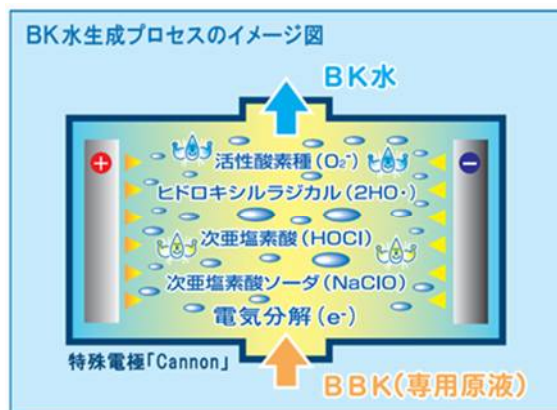


## 大阪の中小企業がケニアの医療サービス向上に挑戦 ～独自の電気分解処理技術で衛生環境改善に貢献～

国際協力機構（JICA）は3月13日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において大阪市平野区の株式会社ジー・イー・エス（代表取締役 社長 宮川和彦）のケニア共和国「セラミック電極により生成させた電解水による病院内の衛生環境改善事業に関する案件化調査」を採択しました。

株式会社ジー・イー・エスは、セラミック電極を用いた電気分解処理に関する独自の技術を有しており、国内外で約150件の特許を取得しています。本提案で導入を検討する「手指洗浄装置」及び「ユニット型除菌水生成装置」により生成される電解水は、次亜塩素酸ナトリウム溶液と比較して、5倍以上の除菌効果を持ち、10～15ppmという低い塩素濃度でも、流水で使用することにより、15秒間で手指の除菌が出来るものです。



BK-HTによる手指洗浄除菌効果

東アフリカ地域の経済を先導する位置にあるケニアは、妊産婦死亡率・5歳未満児死亡率が高く保健医療サービスの改善が喫緊の課題となっています。こうした課題の解決を目指し、株式会社ジー・イー・エスの持つ電解水生成技術の現地病院への導入にかかる調査を実施します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度第2回目は昨年11月に公示を行いました。129件の応募のうち25件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

### 【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 関西国際センター（JICA 関西）

TEL. (078) 261-0341（代表） FAX. (078) 261-0342

JICA 関西 業務第一課 担当 李（イ） e-mail: Lee.Sanggyoon@jica.go.jp